

ゼオンポリミクス株式会社

ゼオンポリミクスは、日本ゼオンの合成ゴムを用いたゴムコンパウンドの製造を担う会社として、1967年に創立されました。

日本ゼオンの持つ優れた合成ゴムと、創立以来培われた当社のゴムコンパウンド技術が相乗し、工業用ゴム部品などの素材として、当社ゴムコンパウンド製品は多くの分野で使用されています。

暮らしと産業を技術と信頼でささえるため「高品質企業を目指そう」をスローガンに、高い製品品質、高い会社品質でお客様のニーズにこたえます。



会社概要

商号	ゼオンポリミクス株式会社
本社	〒520-2272 滋賀県大津市石居 1-11-1 TEL : 077-546-1223 FAX : 077-546-6099
設立年月日	平成元年（1989年）8 月
本社工場	本社工場 滋賀県大津市石居 1-11-1
資本金	240,000,000 円
株主	日本ゼオン株式会社
営業品目	成形用ゴムコンパウンド 自動車部品を始めとした各種ゴム部品の中間加工製品

1. マネジメントシステム

当社は顧客志向、法令順守、環境保全を融合させた品質環境マネジメントシステム（QEMS）を全員参加で構築し、たゆまず活動していきます。

ゼオンポリミクス品質・環境方針

ゼオンポリミクスは、環境・安全を守ることを企業理念とし、全てに優先させています。そして、独自の精練技術を駆使し、徹底した品質管理体制を構築して、世界のゴム産業の発展に貢献しています。

○私達は、製品品質及び会社品質でCMB業界ナンバーワン企業を目指します。

○私達は、顧客指向、法令順守、環境保全を融合させた品質・環境マネジメントシステム(QEMS)を堅持し、継続的に改善していきます。

○私達は、企業の社会的責任(CSR)を自覚し、常に行動していきます。

1. 顧客指向の品質作り

最適なサプライチェーンにこだわり、常に顧客の視点から考え行動し、顧客の満足度の向上に努めます。

- ① 安定・安全な生産工程の維持向上
- ② 工程での品質保証体制の継続した作りこみ
- ③ 顧客信頼度の強化

2. 関連法令その他の要求事項の遵守

製品及び、環境側面に関連する法規制並びに、当社が従うべきその他の要求事項を明確にし、それに適合させます。

- ① 遵法状況の定期的確認と改善
- ② 法令教育の計画的実施

3. 環境負荷の低減

地球環境・地域環境保全の重要性を認識し、資源利用の効率化を事業活動に生かします。

- ① 省エネの推進
- ② 産業廃棄物量の削減
- ③ 環境負荷原料の代替推進

4. 品質・環境マネジメントシステム(QEMS)の継続的改善

品質・環境のパフォーマンスを増進するため、QEMSの妥当性を確認し有効性を検証します。

- ① QEMS内部監査の質的向上
- ② マネジメントレビュー(MRm)の定期的実施によるQEMSの見直し

5. 企業の社会的責任(CSR)の自覚と行動

「社会の公器」として、社会から信頼され、人間尊重を基本に、働く誇りを感じる会社を目指します。

- ① 日本ゼオン CSR基本方針の遵守

2018年01月01日
ゼオンポリミクス株式会社
代表取締役 佐屋 利明

2. 認証登録状況

ISO9001	2015	登録日：2000年04月
ISO14001	2015	登録日：2004年06月

3. 環境負荷低減への取り組み

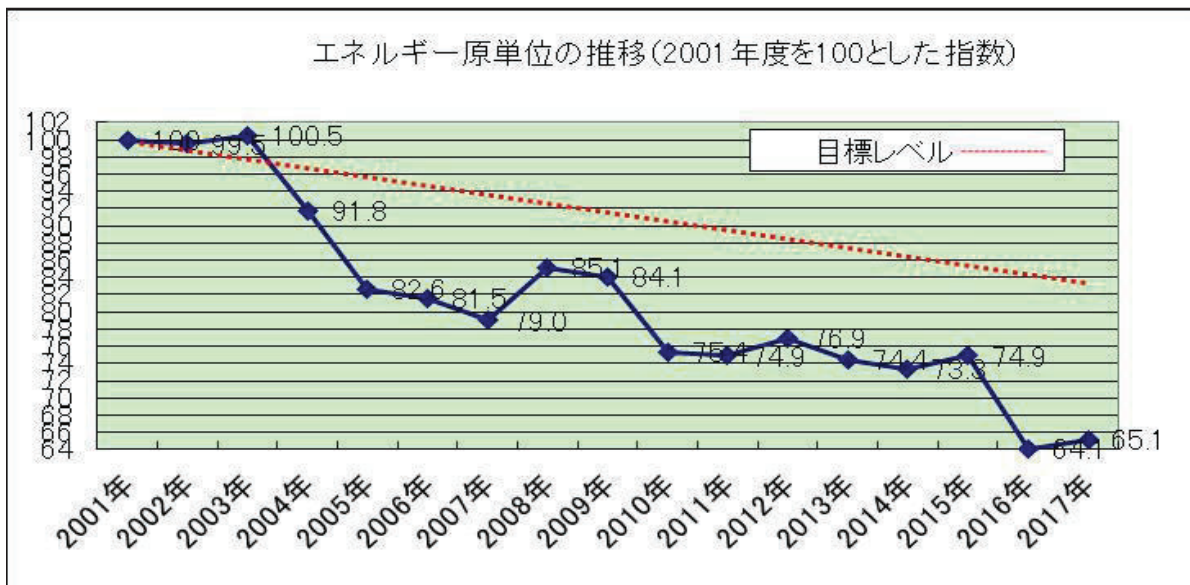
1) 省エネの推進

環境負荷低減の取り組みとして、省エネルギー、原単位削減を重点化して活動を進めています。管理項目としてエネルギーの使用量(原油換算値)に対する製品の生産量を尺度として原単位の改善を図っています。

ゴムコンパウンドの生産は電力使用量が大きな比率を占めており、省エネ機の導入、生産性改善、ムダの改善が大きな要因となります。方針展開としては2001年のエネルギー原単位を基準とし、年度毎の目標値を前年比1%改善する計画を設定しています。

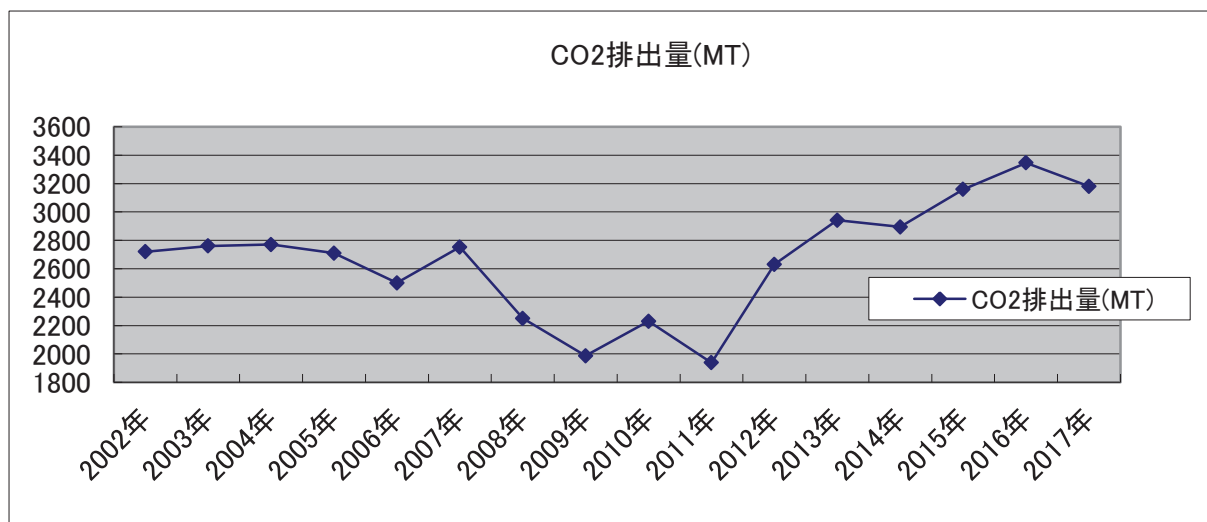
2) 活動実績と成果

当社で使用するエネルギーについて、効率的な使用方法はないか、省エネ推進委員を中心に活動を継続しています。日々のパトロールでムダなエネルギーが使用されない様点検を行い、新設備導入時は省電型設備への更新等を積極的に取り入れ、省エネ活動を向上一丸となって取り組んでいます。



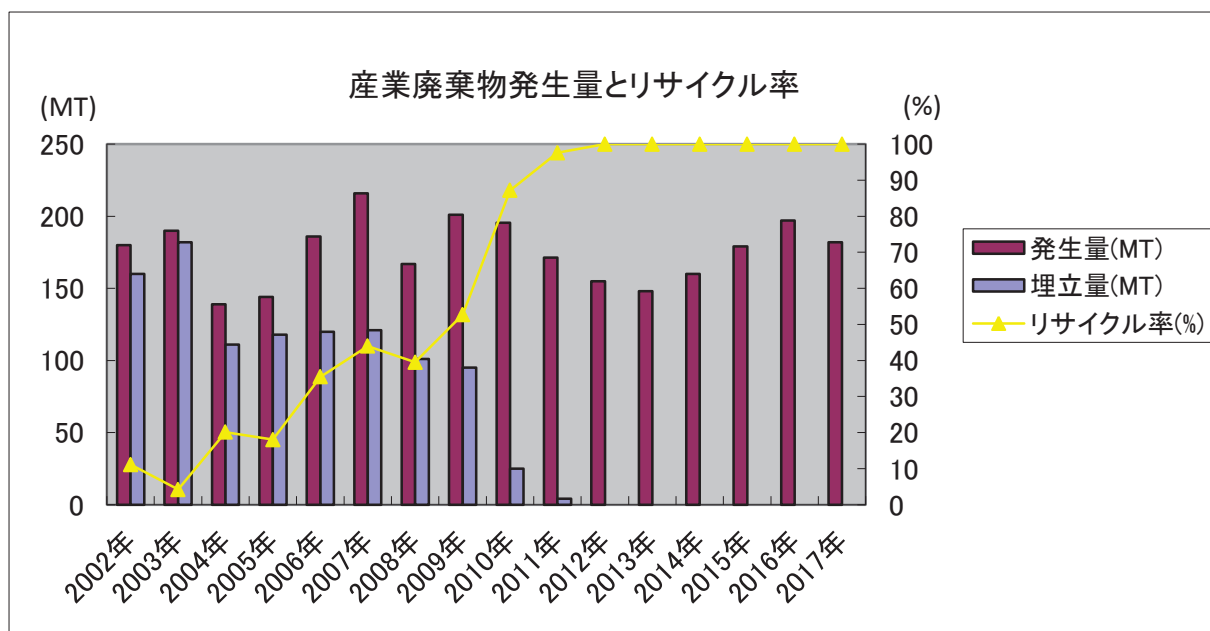
3) CO2排出量の推移

当社の温室効果ガス排出量削減の取り組みとして、省エネ型機器、LED照明 など積極的に採用を行い、電動機についてはモーターをインバーター方式に更新する等、電力量の削減、温室効果ガスである二酸化炭素(CO2)排出量の削減に努めています。電力量はデマンド解析を行い、効果のある手段を立案し、環境対策に結びつく取り組みへ展開します。



4) 産業廃棄物の削減

廃棄量削減には工程内ロス、作業方法の改善等に全従業員が提案を行い、継続的改善に努めています。2012年に最終埋め立て処分量ゼロを達成し、以降屑ゴムなど再資源化の取り組みを行っています。中国の環境規制の影響を受け日本国内の産業廃棄物のリサイクルが困難となっておりますが、更なる分別を推進しリサイクル率の維持を進めていきます。



5) 環境負荷原料の代替促進

環境負荷の低減として PRTR 対象物質の代替促進と使用量管理を図り、排出量及び移動量は経済産業省へ年次報告を行っています。取り扱う PRTR 対象物質については今後も継続的に監視を続けます。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
対象物質（品種）	5	5	5	5	4	6	7
使用量（トン）	165	146	122	113	125	115	106

4. 地域との共生

1) 工場周辺の美化活動への参加は、年度行事計画に展開し取り組んでいます。



2) 大津市民駅伝大会参加

第60回大津市民駅伝競走大会が2月4日に開催されました。今年も当社から1チーム参加しました。また行事の協力として待機場所やトイレの提供、あったかい豚汁やお茶の提供サービスを行い、周辺地域住民とのコミュニケーションを大事にしています。



5. 関連法規の遵守

当社の仕組みとして事業活動に関する法規を定期的に監視しており、環境関連の法規に留まらず労働安全衛生・品質などあらゆる事項のマネジメントシステムを通じて継続的改善活動を推進しています。

以 上